

卒業研究 I

科目ナンバリング THE-401
必修 2単位

佐藤 高樹

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、少人数ゼミの特色を生かし、教育学部の学生がこれまでの学修を通して耕した、自らの理論的・専門的な研究関心を掘り下げる学び、あるいは将来の教職キャリアを念頭に置いた自己像や教育観を探究していく学びを支援する科目です。

この演習では、教育学研究、なかでも日本教育史や教育実践論を議論の足場として、教育の諸課題への理解を深めていきます(「教育を見る眼を養う」)。そのうえで学生各自が掘り下げたい個別テーマの研究の進展を支援します。

2. 授業の到達目標

- (1)「社会のなかの教育」「歴史のなかの教育」といった広い視野から、日本の教育の課題を捉えることができる。
- (2)専門分野の研究成果(著書や論文記事)の内容を的確に読み取ることができる。加えて、その論旨を他者にわかりやすく口頭で説明できる(レビューする力がある)。
- (3)先行研究の到達点と課題を理解し、それとの関連が明確な、自身独自の課題意識、分析視点をもつ。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加度(報告準備、積極的な発言など)30%、提出物(リアクション・ペーパー、レジュメなど)70%、および報告プレゼンのパフォーマンス(+加点)に基づいて、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

本田由紀 教育は何を評価してきたか 岩波新書

神代健彦 「生存競争」教育への反抗 集英社新書

参考文献

※その他、教育学に関する文献・論文・雑誌記事などを検討資料として適宜選択し、受講生の報告をふまえながらその内容を検討していきます。

5. 準備学修の内容

受講生には、テキストや検討資料についてレジュメを作成し、発表してもらいます。自身の担当箇所についてはもちろん、それ以外にも積極的に「読む」作業を通した授業参加なくしては、上記のねらいは達成されません。授業外での自主的な学びを通して構築した自分の見解を持ち寄りながら、授業に参加してください。

6. その他履修上の注意事項

この授業は「講義」ではなく「演習」です。学生の主体的な授業参加～調査・発表・討議～が中心となります。自らすすんでたくさんの関連文献を読み漁ってください。

充実した報告資料の作成、参加者(学生・教員)に有益な学びをもたらす綿密な発表への意識を求めます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | イントロダクション:履修上の注意、ゼミ運営方針についての意見交換 |
| 【第2回】 | 各研究テーマの基礎・基本を理解する:辞典・事典から調べる |
| 【第3回】 | 現代教育の理論的・実践的課題についての基礎的理解(1):教育政策をめぐる動向 |
| 【第4回】 | 現代教育の理論的・実践的課題についての基礎的理解(2):教育文化・学校慣行をめぐる |
| 【第5回】 | 教育(学)的思考を深める(1):テキスト精読と議論① |
| 【第6回】 | 教育(学)的思考を深める(2):テキスト精読と議論② |
| 【第7回】 | 教育(学)的思考を深める(3):テキスト精読と議論③ |
| 【第8回】 | 教育(学)的思考を深める(4):テキスト精読と議論④ |
| 【第9回】 | 教育(学)的思考を深める(5):テキスト精読と議論⑤ |
| 【第10回】 | 教育(学)的思考を深める(6):テキスト精読と議論⑥ |
| 【第11回】 | 教育(学)的思考を深める(7):テキスト精読と議論⑦ |
| 【第12回】 | 教育の論点を深める(1):感染症と教育をめぐる |
| 【第13回】 | 教育の論点を深める(2):ICTの未来、Edtechをめぐる |
| 【第14回】 | 教育の論点を深める(3):民主主義と教育、あるいは「教育の民主主義」をめぐる |
| 【第15回】 | まとめの討議
(※受講生の人数や問題関心の実態・要望に応じて、授業計画に変更を加えることがあります) |